

壊れゆく“若者たち”

File.71 デジタル症候群 ～知らぬうちにあなたも
ストーカーウェアの被害に!?

文 石井 通明

text by Michiaki Ishii

ストーカーウェアと呼ばれるアプリケーションが存在し、知らず知らずのうちに自分の行動が監視されているという話を耳にしたことがありますか？

このストーカーウェアは手持ちのスマートフォンに誰でもダウンロードすることが可能なのです。というのも、このストーカーウェアは表向きには普通のアプリとして存在しているので、違法性がありません。アプリは形を変え、子どもの行動をチェックする目的のものや、企業が社員の行動を記録する目的のアプリである場合があります。

一見、表向きはこのような形のアプリですが、知らぬ間に何者かに意図的にインストールされると、写真やメッセージ、電話の通話履歴、位置情報、WEBの検索履歴まで、あらゆる情報を盗み見られるという事態が起こります。子どもの行動監視の範疇だと考えれば、行き過ぎたように見える内容確認も納得できます。

しかもこれは当然スマホの持ち主には気付かれないようになっていきます。つまりこのアプリをいつの間にかインストールされると、ネット上の活動などが全て筒抜けになってしまうのです。



Profile

東京都大田区生まれ。
英国ウエールズ大学 MBA (経営管理修士)。
日本交渉学会会員。ハーバード流交渉学・消費者行動心理学・コンフリクトマネジメントを研究。日本コールセンター協会情報調査委員。
株式会社クロス取締役 COO。
長年コールセンター運営に携わり、人とのコミュニケーションについての研究を進めている。思いやりのコールセンターを展開。
becall103-6420-2088
[http://www.beall.jp]

海外セキュリティ会社の調査によると、ストーカーウェアの被害に遭った

ユーザー数は2019年1月～8月には世界で3万7532、その数は、年々増加傾向にあり、アプリ数だけではなく、ダウンロード回数も大幅に増加しているというから驚きです。

これらのストーカーウェアは男女間で起こるプライバシーを暴露する以外にリアルビジネスにも大きなリスクをもたらします。

スマホは今や、あらゆるビジネスの場面で使われており、個人の財布や手帳よりも大きな価値を持っています。

その中にはビジネスで使われているあらゆる情報も入っています。機密情報のデータファイルが流出したら、産業スパイにより資金投下してきた開発商品や未完成のアイデアが横取りされる

可能性もあります。

情報社会において、これは大変大きなリスクです。

世の中が便利になる反面、手持ちのスマホが自分の想像を超える機能を搭載するようになっていくことを忘れてはいけません。そして、それを知ろうとしないことで、自分の身を危険に晒すということも実感するべきです。

